

競 技 注 意 事 項

1 この大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定を適用する。

2 招集について

ア 選手招集所は、第一ゲートに設ける。

	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	30分前	40分前
完了時刻	20分前	30分前

イ 招集は、完了時刻10分前に競技者係が点呼を開始しチェックをする。完了時刻に点呼に応じない者は棄権とする。

ウ 代理人による招集は認めない。ただし、複数の種目を同時に兼ねて出場する者は、あらかじめ競技者係に多種目同時出場届を提出し事前の点検をうけておくこと。この場合に限り代理人による招集を認める。

エ 腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。なお混成競技および男子1500m、5000m、3000mSC、5000mW、女子800m、1500m、3000m、5000mWは、招集時、競技者係または出発係から配られる。

オ 混成競技は、第1日目第一種目、第2日目第一種目と最終種目は招集所で点呼を受ける。他の種目は現地集合とし、トラック競技は競技開始20分前に出発係が、フィールド競技は競技開始30分前にフィールド審判員が点呼する。

3 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。

4 リレー予選のオーダー用紙は、第1組招集完了時刻の120分前から60分前までに記録室受付係へ提出すること。予選を通過したチームは、すみやかに決勝のオーダー用紙を記録室へ取りに来ること。決勝のオーダー用紙は変更の有無にかかわらず招集完了時刻の120分前から60分前までの時間帯に記録室受付係へ提出すること。（オーダー用紙は、学校受付時に配付する）

ただし、女子4×400mリレー予選のみオーダー用紙受付時刻を第2日目7:30～8:00とする。

5 5000m、3000mSC、5000mW、女子3000m、5000mWで先頭に一周抜かれた場合はレースを中止させることがある。

6 やりは、検査をうけて自己のものを使用することができる。

検査場所・・・・・・ 玄関ロビー

検査時間・・・・・・ 男子：第1日12時30分 女子：第1日14時00分 混成女子：第2日10時00分 混成男子：第2日11時00分

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

男子 走 高 跳・・・・・・ 1m50(練習) 1m55-60-65-70-75-80 以後3cm

棒 高 跳・・・・・・ 2m60(練習) 2m80-3m00 以後10cm

八種走高跳・・・・・・ 1m45(練習) 1m50 以後3cm

女子 走 高 跳・・・・・・ 1m20(練習) 1m25-30-35-40-45-50 以後3cm

棒 高 跳・・・・・・ 1m60(練習) 1m80-90-2m00 以後10cm

七種走高跳・・・・・・ 1m15(練習) 1m20 以後3cm

※ バーを破損した場合は、弁償すること。

8 高体連の申合せにより、役員の協力がない学校の選手は出場させない。

9 スタートにおける不適切行為には§162-5(C)は適用せず、注意にとどめる。

10 トラック競技で同記録(1/1000秒まで同じ)の場合、準決勝・決勝への進出者は抽選により決定する。

11 競技場の開門は、両日とも7時30分に行う。

12 競技終了後の清掃は、大会両日とも西播地区各校2名が本部前に集合すること。ゴミは各校責任を持って持ち帰ること。

13 整備用具係付きの補助員は、開門と同時に北器具庫前に集合すること。

14 競技場内でのウォーミングアップは両日とも8時45分まで認める。

15 3000mSCは2組タイムレース決勝として実施する。番組編成は記録順とする。

16 トラック外側の第2コーナーから第3コーナーまでの区域は競技に支障のない範囲で、アナウンスの指示があればウォーミングアップ場として使用してよい。（投てき練習は禁止）

17 第1日目9:00より開会式、8:50、1000mスタート付近に学校単位、学校番号順に整列集合のこと。

18 第2日目競技終了後準備ができれば開会式を実施する。